

氏名	中村裕美	部署	保健医療福祉学部作業療法学科・大学院保健医療福祉学研究所 兼任	職名	准教授
研究分野	作業療法理論, 高齢期作業療法学, 地域作業療法学				
学位	博士				
学歴	最終学歴 公立大学法人首都大学東京 大学院 博士後期課程 人間健康科学研究科 人間健康科学専攻 作業療法科学域 修了				
経歴	2013年4月より現職				
所属学会(役職)	University of Illinois at Chicago, The Model of Human Occupation, Clearinghouse(評議委員) British Journal of Occupational Therapy (学術誌査読委員, 学術集会演題採択委員) World Federation of Occupational Therapists(学術集会演題採択委員) Journal of Physical Therapy Science(査読委員) Japanese Journal of Nursing Science(査読委員) 日本作業療法士協会(学術誌査読委員, 学術集会演題採択委員) 日本作業行動学会(評議委員) 臨床作業療法学会(査読委員)				

【2015年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
	該当なし				
(2) 論文					
1	Validity and reliability of the Japanese Interest Checklist for the Elderly	共著・筆頭	British Journal of Occupational Therapy: Online first: DOI: 10.1177/0308022616632774 インパクトファクター付国際学術誌 査読有	○Hiromi Nakamura, Makoto Kyougoku, Renee Taylor	Online first:2016 March
2	The 4th International MOHO Institute: Summary and Reflections	共著・筆頭	AKTUELT Ergoterapeuten #6- 2015, 62-67 国際学術誌 査読有	○Hiromi Nakamura, Leah R. Van Antwerp, Moses Ikiugu, Patricia J. Scott, Tore Bonsaksen	2015 December
(3) 学会発表					
1	地域在住高齢者を対象とした家庭内潜在的障壁に対する自覚的・客観的比較と解決策の調査	共著・筆頭	第49回日本作業療法学会学術集会 神戸市 神戸国際会議場	○中村裕美, 京極真	2015 June
2	A strategy for increasing cultural competency in nursing students through inter-professional education	共著・筆頭	International Forum on Quality and Safety in Healthcare Asia 香港 国際会議場	○Hiromi Nakamura, Justina Liu, Yuriko Nozaki, Toshie Fukushima, Pin Pin Cho , Mariko Zensho	2015 September
3	A Validity Study of the Japanese Interest Checklist for the Elderly	単著	4th International Institute on the Model of Human Occupation Purdue University, Indianapolis	○Hiromi Nakamura	2015 October
4	Understanding their stories and social variables which influence their perception on the basis of the MOHO	共著・筆頭	4th International Institute on the Model of Human Occupation Purdue University, Indianapolis	○Hiromi Nakamura, Sun Wook Lee	2015 October
5	左肩関節腱板損傷事例への教育的作業療法の一考察	共著	第49回日本作業療法学会学術集会 神戸市 神戸国際会議場	○加藤真理奈, 中村裕美	2015 June

6	固有受容器感覚からの姿勢制御による 身体図式への作業療法	共著	第49回日本作業療法学会 学術集会 神戸市 神戸国際会議場	○井川大樹, 中村裕美, 石岡俊之	2015 June
7	Score Changes in the level of need for nursing care among patients in a hospital	共著	International Forum on Quality and Safety in Healthcare Asia 香港 国際会議場	○Toshie Fukushima, Kenichi Anzai, Yuriko Nozaki, Hiromi Nakamura	2015 September
8	The circumstances surrounding the turnover of Japanese proficient nurses and the support measures available to them	共著	International Forum on Quality and Safety in Healthcare Asia 香港 国際会議場	○Yuriko Nozaki, Toshie Fukushima, Hiromi Nakamura	2015 September

(4) その他

1	招聘役割 英国 米国 カナダの作業療法実践	単著	日本リハビリテーション 国際交流協会学術大会 東京都 豊島区	○中村裕美	2015 Decenber
2	招聘役割 The future of the Model of Human Occupation: from Individual practice to global measurement of participation outcomes	単著	Zurich University of Applied Sciences Zurich Switzerland	○Hiromi Nakamura	2016 January
3	招聘役割 Cultural competency in Interprofessional education	単著	Zurich University of Applied Sciences Zurich Switzerland	○Hiromi Nakamura	2016 January

2. 競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	要支援の地域在住高齢者のための住生活の安全管理を支援する在宅健康プログラムの構築(研究代表者)	2015.April- 2019.March
2	財団法人日本国際交流事業財団 平成27年度海外派遣・招聘事業	The Model of Human Occupation人間作業モデルに基づく地域支援作業療法のアジアでの共同研究(招聘代表者)	2015 July
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	体内力源型能動義手使用者の基礎的な義手操作技能を評価する指標の開発(研究分担者)	2014.April- 2017.March

3. 教育業績

	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
(1) 講義			
1	グローバルヘルス香港理工大学短期留学	2015.April- 2015.October	(時間割番号100300402)保健医療福祉科目・前期・集中:科目責任者として、香港理工大学担当者との連絡・交渉により確認したプロセスに基づき、履修希望者の事前準備(県助成制度へのエントリーを含む)を促し、渡航終了後は、香港理工大学担当者からの情報提供に基づき成績を管理し、学内報告会開催準備とオープンキャンパス用ポスター作製を支援した。
2	高齢期作業療法学特講	2015.June- 2015.December	(時間割番号115004601・55755)作業療法学専門科目・後期・水曜日3-4時限:科目責任者として、eラーニング教材整備、ゲストスピーカー調整、学内実習環境整備、成績管理を行い、卒業後に高齢期領域での臨床活動を目指す学生の臨床活動スキルの向上を促した。
3	保健医療福祉学際英語	2015.August- 2016.February	(時間割番号m17)大学院・共通科目・保健医療福祉統括科目・後期・土曜日4時限:科目責任者として、eラーニング教材整備、演習実施、成績管理を行い、大学院生のアカデミックライティングスキルの向上を促した。
4	国外大学からの短期留学生を対象とした講義 Rehabilitation for community-living older Japanese people	2015.July	国外大学からの短期留学生(香港理工看護学生6名 チューリッヒ学生看護3名)に対し、これまで授業で用い、また科研費で得てきた知見を英語で提供した。

5	国外大学からの短期留学生を対象とした講義 Nursing Education systems in Japan	2015.July	国外大学からの短期留学生(香港理工看護学生6名 チューリッヒ学生看護3名)に対し、日本看護協会が刊行する英語教材を用いて英語で講義した。
(2) 演習			
1	臨床作業療法演習	2015.June- 2016.February	(時間割番号115001601・55365)作業療法学専門科目・後期・水曜日3時限:科目責任者として、当該マニュアル整備、客観的臨床技能評価OSCEの患者役となる臨床家の選定と招聘準備、OSCEのための患者役トレーニング、OSCE運営のための科目分担者との連携、演習実施、成績管理を通じて、学生にとって最初の臨地実習への準備を促した。
2	IPW演習	2015.June- 2015.October	共通科目・後期・集中:科目分担者:教員ファシリテーターとして、担当する医療機関の施設ファシリテーターとの連絡、学生への情報提供、演習中の討議促進、最終日の施設内発表会運営、最終日の地域別発表会の運営、学生成績の管理を行った。
3	国外大学からの短期留学生を対象とした演習 Workshop with SPU undergraduate Nursing students	2015.August	国外大学からの短期留学生(香港理工看護学生6名 チューリッヒ学生看護3名)に対し、英語による演習を行った。看護学科教員の協力を得て、看護学科学部生3名の参加を得て、看護学生同士の英語による討議を促進した。SPU学部学生にとっては、看護学生としての進路選択、就学内容を英語で表現する機会となった。
4	国外大学からの短期留学生を対象とした演習 Workshop with SPU Nursing Master candidates	2015.August	国外大学からの短期留学生(香港理工看護学生6名 チューリッヒ学生看護3名)に対し、英語による演習を行った。看護学専修大学院生3名の参加を得て、看護師としてのキャリアや臨床活動について英語による討議を促進した。SPU大学院生にとっては、看護師としてのキャリア、臨床活動、研究内容を英語で表現する機会となった。
(3) 実習			
1	臨地実習 I -3(地域領域)	2015.January- 2016.March	(時間割番号115004901)作業療法学専門科目・後期・集中:科目責任者として、臨地実習施設獲得、臨地実習指導者会議開催、臨地実習指導者会議不参加の指導者との連絡、複数回の事前オリエンテーション、学生の臨地実習指導者会議への準備促進、当該マニュアル整備、臨地実習中の臨床指導者との連絡、成績管理、報告書作成を行った。
2	高齢期作業療法学実習	2015.June- 2016.February	(時間割番号115003601・55560)作業療法学専門科目・後期・金曜日1-2時限:科目責任者として、eラーニング教材整備、ゲストスピーカー調整、学内実習環境整備、成績管理を行い、学生の臨地実習 I -3への準備を促した。
3	作業療法運動学実習	2015.June	作業療法学専門科目・前期・水曜日・4時限:科目分担者として、実技試験の評定者役割を担った。
4	臨地実習 II	2015.April- 2015.July	科目分担者として身体機能領域および精神機能領域の実習施設に配属されている学生の実習中の中間訪問を行い、学生、臨地実習指導者のそれぞれと面談した。
5	国外大学からの短期留学生を対象とした病院体験実習 Fieldwork activities in Soka municipal hospital	2015.August	国外大学からの短期留学生(香港理工看護学生6名 チューリッヒ学生看護3名)を引率し、医療機関での体験実習を行った。事前オリエンテーション、2日間の病院実習中の病棟看護師との連絡調整、1日毎のサマリー会議での通訳、留学生レポートを翻訳・集約した病棟看護師に向けた報告書作成を担当した。
(4) 論文指導			
1	大学院博士前期課程	2015.April- 2016.March	主指導1名:研究デザイン構築、データ分析、中間発表会、最終審査のための発表会、論文構築、学術集会での発表会という一連の研究プロセスを支援した。
2	学部学生卒業課題研究	2015.April- 2015.December	4年次学生主指導3名、3年次学生主指導2名:4年生については、研究デザイン構築、倫理審査書類整備、研究フィールド獲得、データ分析、中間発表会、最終審査のための発表会、論文構築という一連の研究プロセスを支援した。3年生については、研究デザイン構築、倫理審査書類整備、研究フィールド獲得を支援し、データ収集まで至った。

(5)その他				
1	大学院生国際学術集会参加支援	2014.September- 2015. September	大学院生の国際学術集会参加を支援した。リハ専修の院生には、エントリー時抄録作成を支援した。看護学専修の院生には、エントリー時抄録作成、エントリー時学生割引参加費交渉、ポスター作製、当日の発表支援を行った。	
4. 社会貢献活動				
(1)講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	埼玉看護協会第9支部研修会	埼玉看護協会第9支部	看護領域における研究の基礎：臨床から研究への橋渡し	2015.May
2	獨協医科大学越谷病院看護研究研修	獨協医科大学越谷病院看護部	看護クリニカルラダーⅢa.看護研究の基礎と実践 看護クリニカルラダーⅢb.看護研究の実践と公表 上記をテーマに各グループに月1回6カ月間合計12回の研修会開催	2015.June- 2016.January
3	第3回 武里研究報告会	奨励研究 学長指定 武里プロジェクト	地域在住高齢者に対する作業療法：家庭内転倒予防支援	2015. Dec
(2)国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称		任期
1	越谷市介護給付費等の支給に関する審議委員会	委員		2013.April-現在
2	豊島区区民ひろば課WHO認証プロジェクト セーフコミュニティ	委員		2013.April-現在
(3)ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
	該当なし			
5. 学内運営(委員会委員)				
1	奨励研究部会 部員			
2	国際交流委員会 委員			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
	該当なし			
7. 特許の保有状況				
	特許名	特許番号		登録年月
	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			